

理事長挨拶

新年あけましておめでとうございます。

平成十七年四月一日、聖愛園の施設長に就任して早、十三年が経とうとしています。当時は、松阪市他四町の合併協議会の幹事として、合併の是非を協議しておりました。平成十七年一月一日、合併が成立し三か月間、松阪市の職員として奉職し、乞われて現在の職に転職をさせていただいた訳でございます。私の街、飯南町は合併した直後から甚だ衰退し、過疎化、高齢化と更には限界集落の波が押し寄せ大変寂しい状況になつてきました。我が町にとつて合併が本当に唯一の正しい選択であつたかどうか疑問を感じながら自然としない日々を送り、今日に至りました。

さて、聖愛園につきましては、当時を振り返りますと、措置から支援費支給制度に次に障害者自立支援法に、次は障害者総合

支援法にと目まぐるしい改正がありました。昨年の今頃は、社会福祉法の改正で業務に追われていたことを思い出しますが、社会福祉法の改正で業務に追われていたことを思い出しますが、この十三年間利用者の皆様の命を預からさせているという責務の重大さに、心も体も休まる日は少なかつたようになります。

昨年三月、山岡前理事長の後を受け、理事の皆様の御推举により、理事長に就任をさせていただきました。本年三月をもつて、聖愛園施設長を退任し、後任には、阪口雅生副施設長を予定していますので、私同様、どうぞお引き立ていただくようお願い申し上げます。

聖愛園施設長在任中は（もうすこしありますが）役員、評議員の皆様、保護者の皆様、職員関係する多くの皆様に大変お世話になりました。これからも理事長としてもうしばらく福祉の仕事に携わらせていただきますので、引き続きよろしくお願ひします。

本年も皆々様にとつて良いお

年でありますよう
にお祈りいたします。

聖和福祉会
理事長

戸野 和雄



発行所
聖和福祉会
聖愛園

〒519-2211
三重県多気郡
多気町丹生4701
TEL 0598-49-3115
FAX 0598-49-3783

サニープレイス

〒515-0052
三重県松阪市
山室町2580
TEL 0598-30-5585
FAX 0598-30-5586



クリスマス会



生活支援員 澤田 渉



十二月十日に第十八回聖愛園クリスマス会が開催されました。会場は利用者さんが作った、白い雪の結晶やクリスマスの飾りが、いちめんに飾られ、例年とは違った雰囲気の会場作りが出来てとても綺麗でした。

副施設長の開会の挨拶で始まる、約一ヶ月かけ、皆で練習した「ジングルベル」を合唱し、保護者の皆様に披露する事が出来ました。

そして、ボランティアで来て頂いた、コールアベクブさんによるコーラスは、クリスマスソングに始まり、皆さん知つている懐メロ等を交えて、大いに盛り上りました。次は、大好きなクリスマスケーキの時間です。皆さん、笑顔がこぼれていてとても美味しそうでした。ケーキの後は、はっぴー7さんによるバンド演奏です。迫力のある楽器の音色や歌声に合わせ、自然に手拍子をする利用者さんもみえ、とても楽しそうでした。

最後はサンタクロースからクリスマスプレゼントが配られました。皆さん、嬉しそうな笑顔でプレゼントを貰い、とても楽しいクリスマス会となりました。

クリスマス会にご参加、ご協力いただいた保護者の皆様、ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

笑顔のある毎日を

早いもので、聖愛園に勤めて、一年が過ぎました。この一年間は、先輩職員方にいろいろ教えて頂きながら、あつという間に過ぎ去ったという印象です。

私が生活支援員として、利用者の方々と関わっていく日々の中で心掛けている事があります。

私は、関西出身なので、毎日、常に「お笑い」のある文化の中で、幼少の頃から過ごしてまいりました。年齢がいくにつれ、「お腹を抱えて笑う。」「涙を流して笑う。」という事が少なくなってきたように思います。

そんな中、聖愛園での毎日の生活の中で、利用者の方々が少しでも多く笑って頂けるように、「今日も楽しかったな」と笑顔で話してもらえるように、微力ながらも、お手伝いをさせて頂ければと思っています。

しかし、実際は私自身が、利用者さんに笑顔にさせてもらう方が多く、まだまだ頑張っていかないと、思う毎日です。

これからも利用者の方々と一緒に日々を楽しみながら、共に笑顔で過ごせる様に努めて参りたいと思います。

生活支援員 上野 由紀子



生活支援員としての日々

生活支援員としてこちらに入社し一年が過ぎました。福祉の仕事に携わるのも入所施設での勤務も初めてですが、先輩職員や利用者の方々と毎日勉強しながらも楽しく充実した日々を過ごさせていただいています。

最初は生活支援員の仕事は、食事、入浴、排泄など日常生活の介助が主な仕事であると考えていました。しかしここで働く日々で介助だけが生活支援員としての仕事ではないと気が付きました。

今では介助を含め、利用者の方々のそれぞれの幸せを提供するのが生活支援員の職務であると思っています。幸せの提供という漠然とした内容で答えがなく、色々と自問する毎日ですが、少しでも福祉の理念に近づき支援が出来るように頑張って実践していきたいと思います。

生活支援員 松本 猛





旅行活動



生活支援員 九鬼 大亮



↑ウミガメ公園にて、
皆さんウミガメの水槽
に興味津々でした！



↑瀧原宮に参拝にでかけました。

←
鳥羽水族館で記念撮影
をしました♪



今年度も日帰り旅行、一泊旅行として利用者さんと様々
な所へ出掛けました。
参加される利用者さんの希望された場所や好みに合わせ
た場所などを行き先に選びましたが、利用者さんによつ
ては少し物足りないものとなつた方もみえたかもしれません。
九月の一泊旅行では白浜アドベンチャーワールドをメ
インに熊野本宮大社、ウミガメ公園、鬼ヶ城などへ出掛け
ました。アドベンチャーワールドでは普段見かけない
動物たちを間近で見たり、鬼ヶ城では自然の生み出した
景色を眺めたりと、普段なかなかできない体験をして頂
けたと思います。
来年度の旅行はこれまでの経験を踏まえ、利用者さん
の体力的な面や旅行の内容などを熟慮し、全員に満足し
て頂ける旅行にしていきたいと思います。

栄養便り



栄養士 野田 未有

セロトニンは必須アミノ酸のトリプトファンから作りだされていて、肉・卵・チーズ・魚・大豆等に多く含まれています。しかしどの食材も摂りすぎでは別の病を引き起こしてしまいます。何事もバランスが大切です。

腸が喜ぶ食材で、また季節を感じる給食を提供していきたいと思っております。食べることは、ただ栄養素を体内に取り入れるだけではなく、心が豊かになるという事、喜びが生まれるという事を少しでも感じて頂けたらと思います。

暦の上では春ですが、寒い日が続いているため、皆さま体調を崩されませんように。

人が誕生する時最初に機能するのは心臓ですが、形成されるのは脳ではなく腸と言われています。それは、幸福感を得る為に腸内で作られる幸せホルモン（セロトニン）この存在があつたからなのでしょうか。

セロトニンは必須アミノ酸のトリプトファンから作りだされていて、肉・卵・チーズ・魚・大豆等に多く含まれています。しかしどの食材も摂りすぎでは別の病を引き起こしてしまいます。何事もバランスが大切です。

腸が喜ぶ食材で、また季節を感じる給食を提供していきたいと思っております。食べることは、ただ栄養素を体内に取り入れるだけではなく、心が豊かになるという事、喜びが生まれるという事を少しでも感じて頂けたらと思います。

暦の上では春ですが、寒い日が続いているため、皆さま体調を崩されませんように。

医務便り

昨年の二月より働かせて頂いております看護師の井元と申します。

私が看護師を目指した動機は「福祉の仕事に就きたい。」と言う気持ちからでした。子育てに一段落した最近になつて、ようやく福祉の仕事をさせて頂ける機会に恵まれました。実際、現場に出て病院と施設の違いに慣れず苦労しました。長年医師の下で働いて来た為、勤務に不安を感じる事もありますが、先輩看護師の現場での対応を勉強させて頂き、「冷静な対応・的確な判断」が如何に必要か実感しました。

まだまだ、日々勉強させて頂く事ばかりですが、常に笑顔を忘れず、利用者さんが安心して生活して頂けるよう、心と身体のケアを目指して頑張って行きます。

看護師 井元 美代子



アート活動

聖和福祉会(聖愛園・サニープレイス)では毎日の色々な活動の中でアート活動をしています。毎年松阪市展と三重県障がい者芸術文化祭に作品を出展しています。

第五十八回松阪市展では十九名が出展し、全員が入選しました。平成二十九年度三重県障がい者芸術文化祭では二十八名が出展し、サニープレイス利用者さんが三重県知事賞と桑名市長賞を受賞しました。

今回北勢地域の多くの方々に作品を見て頂く事ができ、嬉しく思いました。聖愛園は最重度の利用者さんが多くみえます。昨年は描けても今年はできない方もみえました。制作にあたっては、談話室でされる方や居室をアトリエとして気に入った音楽をかけて誰にも邪魔されずに好きな時に進める利用者さんもいます。今後も、利用者さんそれぞれが出来る楽しみ方を探して行きたいと思っています。昨年から陶芸の講師を招いて、陶芸にも取り組んでいます。土いじりから始めて、まだまだ土に遊ばれている感じですが、いつの日か三重県障がい者芸術文化祭に出展出来る日を楽しみにしています。

生活支援員 田中 修



↑三重県知事賞を受賞された利用者さんの作品。



↓出来上がった陶芸作品は聖愛園玄関で展示中です。ぜひご覧ください！



物品寄付(芳名 (敬称省略))

橋本達幸・神廣かよ・坂口富子
岩城央生・大谷勲・水谷英男
(他にも匿名で頂戴しております)

森田知恵子・山川英彦
西村郁三・武田スミヨ・西恵子
中辻医療機器株・マルエイ・でんきや・
坂谷彰彦・山野弘子

三光運輸・丹生大師・西組
㈱トモ・小山株式会社・三重義肢
アンサーロックサービス・亜熱帯トロ

ピカル楽団

(他にも匿名で品物を頂戴しております)

機関紙ひだまり第四十七号を発行させていただきました。ご一読いただければ幸いです。宜しければ聖愛園とサンープレイスのブログ☆活動日記☆もご覧下さい。

<http://seiaien.exblog.jp/>
<http://sunnyseiwa.exblog.jp/>

編集 聖愛園
事務員 田所有須

御厚情深く御礼申し上げます

自平成二十九年七月十三日
至平成二十九年十二月二十七日

保護者会・中川和子・世古高滋
武田スミヨ・水谷英男